地図の見方

この地図に記した遺跡は３種類に色分けしています。

- ●黄色は駐車場等が整備され、見学しやすい遺跡です。
- ●黒色は専用の駐車場等は整備されていませんが、見学可能な遺跡です。
- ●青色は開発事業に伴い発掘調査を行った遺跡などです。消滅したものも多く見学はできませんが、周辺の地下にはまだ遺跡が広がっている場合もあります。

遺跡を見学するときの注意点

- 野外活動に適した服装・靴を身に着けましょう。
- みだりに私有地に入らないようにしましょう。
- 草木をむやみに切ったり、田畑を踏み荒らしたりしないようにしましょう。
- まわりの人に「あいさつ」を忘れず、また遺跡を見学していることを説明しましょう。
- ハチやヘビ、ウルシなど有害な動植物に気をつけましょう。

〈発行〉
岡山県古代吉備文化財センター
〈所在地〉
〒701-0136　岡山市北区西花尻 1325-3
TEL 086-293-3211　FAX 086-293-0142
https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/
〈交通〉
ＪＲ桃太郎線吉備津駅から徒歩 25 分
ＪＲ山陽本線・伯備線庭瀬駅から徒歩 40 分
〈展示室案内〉
岡山県内の出土品を展示
開館　9:00 ～ 17:00
休館　年末年始（臨時休館あり）
入館無料

VEGETABLE OIL INK　2021 年 3 月発行

①小原山王山城跡（市史跡）

標高約350mの丘陵上に築かれた連郭式山城。曲輪の周囲は多数の畝状竪堀で守りを固める。

②旧因幡街道大原宿跡

古町地区に残る江戸時代の宿場跡。本陣・脇本陣の建物が現存する。岡山県の町並み保存地区に指定。

石棺
美作市教育委員会提供

③築出し古墳

丘陵の裾部に築かれた古墳時代終末期の古墳。規模・形状は不明。凝灰岩製の小型組合せ式石棺が出土した。

箱式石棺

④山の後２号墳（市史跡）

丘陵尾根上に立地する古墳で、墳丘の規模や形状は不明。工事中に箱式石棺が出土し、現地に保存されている。

⑤竹山城跡（市史跡）

因幡往来を見下ろす丘陵上に築かれた堀切や畝状竪堀を伴う連郭式山城。新免氏の居城と伝える。

古代因幡道

⑥中町Ｂ遺跡

吉野川の左岸に立地。幅約６mの直線道路を約170mにわたって検出。古代官道の因幡道と推定される。

銀装円頭大刀

⑦穴が迫古墳

吉野川を望む丘陵上に立地する古墳時代後期の円墳。横穴式石室から類例の少ない銀装円頭大刀が出土した。

軒丸瓦
美作市教育委員会提供

⑧今岡廃寺

白鳳時代創建の寺院跡。出土した軒瓦は、播磨地域との密接な結びつきを示唆している。

密教法具
美作市教育委員会提供
文化庁所蔵

⑨真船遺跡

砂防ダムの建設時に、室町時代初期の密教法具21点がまとまって出土した（文化庁蔵）。

陶棺
東京国立博物館所蔵
Image:TNM Image Archives

⑩野形２号墳

丘陵斜面に築かれた古墳時代後期の古墳。明治時代に土師質亀甲形陶棺が出土し、東京国立博物館に保管。

横穴式石室

⑪才の乢１号墳（市史跡）

古墳時代後期に築かれた径約15mの円墳。横穴式石室は無袖で全長約７m。小原田火の釜古墳ともいう。

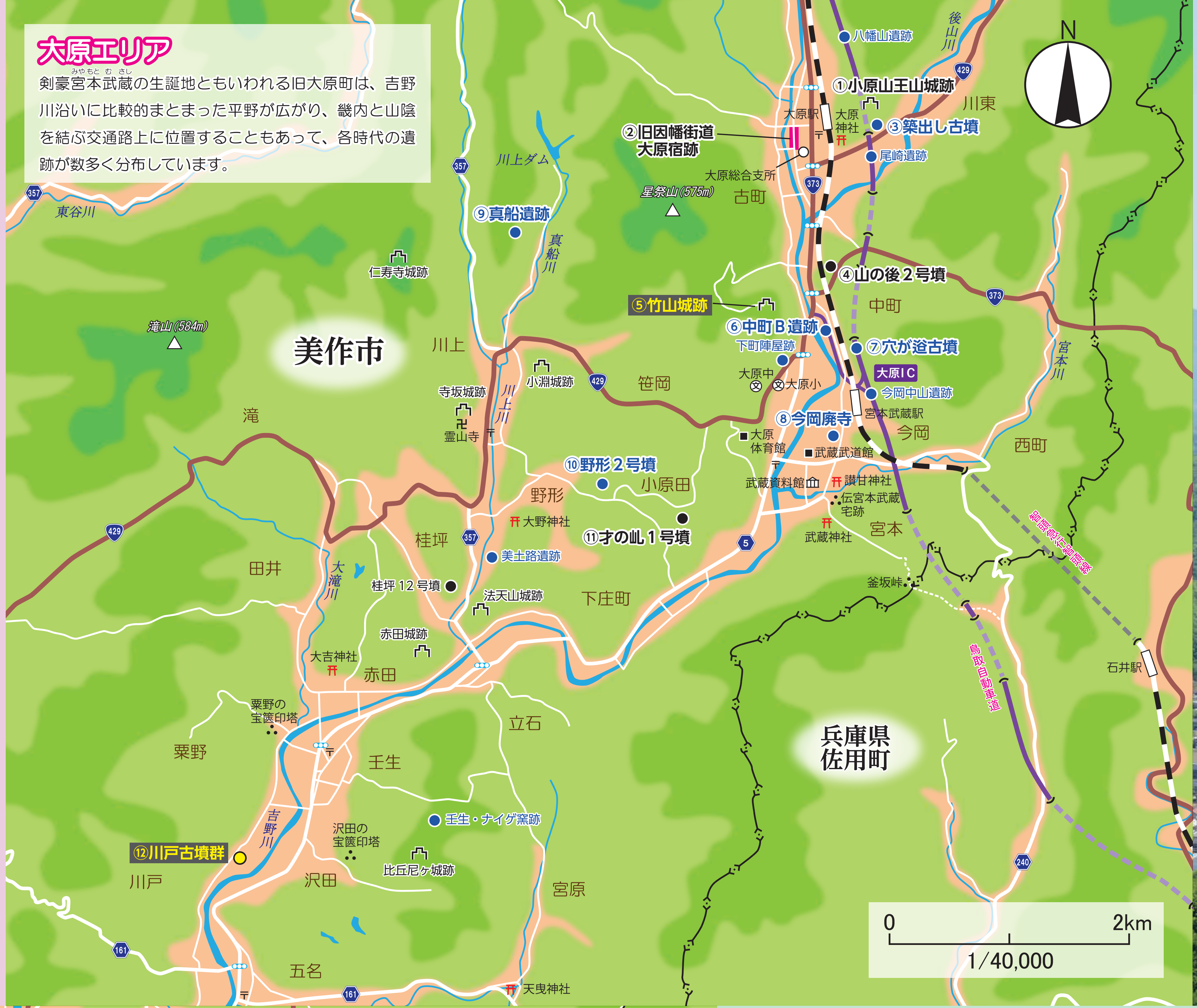
１号墳

⑫川戸古墳群（市史跡）

古墳時代後期に築かれた３基の円墳。横穴式石室から馬具や銀象嵌大刀などが出土。古墳公園として整備。

大原エリア

剣豪宮本武蔵の生誕地ともいわれる旧大原町は、吉野川沿いに比較的まとまった平野が広がり、畿内と山陰を結ぶ交通路上に位置することもあって、各時代の遺跡が数多く分布しています。



おかやま☆遺跡探訪

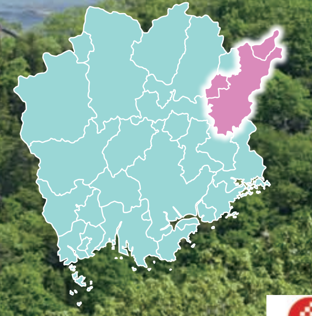
美作市とその周辺

美作・勝央エリア拡大図 ▶

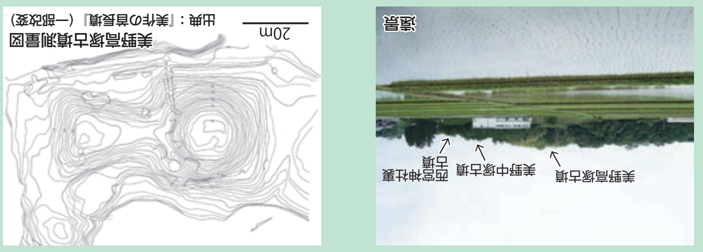
◀ 大原エリア拡大図

裏面

全体図（美作市・勝央町・西粟倉村）



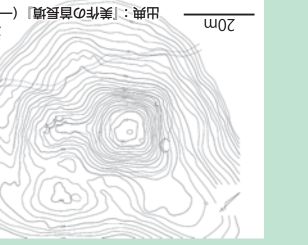
表紙・裏表紙：大山（美作市）から北方を望む



美野高塚古墳測量図
出典：『美作の首長墳』（一部改変）

⑬美野古墳群（町史跡）

丘陵上に並んで築かれた３基の前方後方墳。西から西宮神社裏古墳（全長約39m）、美野中塚古墳（同51m）、美野高塚古墳（同65m）。古墳時代前期において、周辺地域を治めた代々の首長墓と推定される。



測量図
出典：『美作の首長墳』（一部改変）

⑭田井高塚古墳（町史跡）

美野平野を見下ろす丘陵上に立地する、全長約42mを測る古墳時代前期の前方後方墳。

全景

⑮茂平城跡

比高15mの低丘陵上にあった戦国時代から江戸時代の居館跡。掘立柱建物や貯蔵穴など多数の遺構を検出。

５号墳遺物出土状況

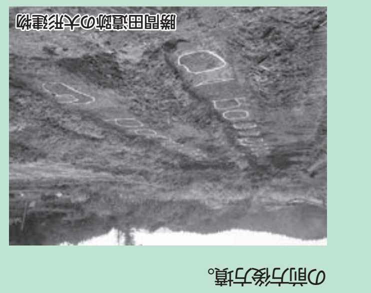
⑯畑ノ平古墳群

勝央町西部の丘陵上に築かれた６～７世紀の群集墳。横穴式石室から豊富な副葬品が出土した。

勝間田焼

⑰戸岩窯跡

平安～鎌倉時代に生産された勝間田焼の窯跡の一つ。11世紀後半に操業された、最古の勝間田焼窯跡。


勝間田遺跡の大形建物

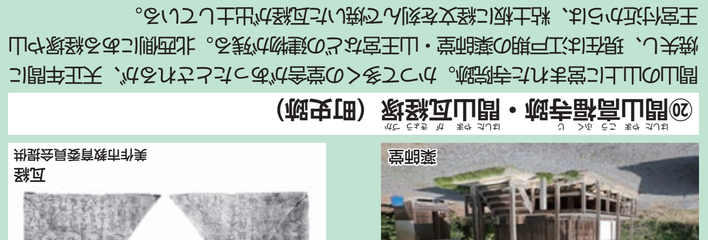
⑱平遺跡・勝間田遺跡

古代の勝田郡衙に比定される。大形の掘立柱建物や鍛冶炉とともに、刻印土器・石帯などが出土。

下山本陣

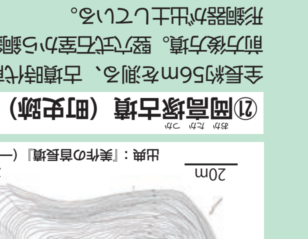
⑲旧出雲街道勝間田宿跡

出雲街道美作七宿のひとつ。津山藩主の宿所であった下山本陣や、明治時代の勝田郡役所の建物が現存する。


薬師堂
瓦経
美作市教育委員会提供

⑳間山高福寺跡・間山瓦経塚（町史跡）

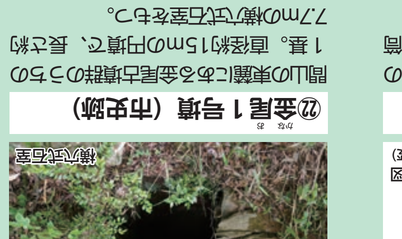
間山の山上に営まれた寺院跡。かつて多くの堂舎があったとされるが、天正年間に焼失し、現在は江戸期の薬師堂・山王宮などの建物が残る。北西側にある経塚や山王宮付近からは、粘土板に経文を刻んで焼いた瓦経が出土している。



測量図
出典：『美作の首長墳』（一部改変）

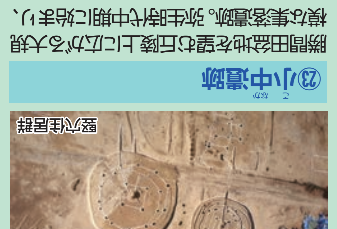
㉑岡高塚古墳（町史跡）

全長約56mを測る、古墳時代前期の前方後方墳。竪穴式石室から銅鏡や筒形銅器が出土している。


横穴式石室

㉒金尾１号墳（市史跡）

間山の東麓にある金尾古墳群のうちの１基。直径約15mの円墳で、長さ約7.7mの横穴式石室をもつ。


竪穴住居群

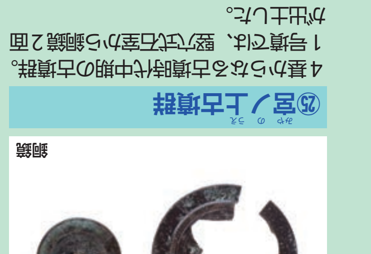
㉓小中遺跡

勝間田盆地を望む丘陵上に広がる大規模な集落遺跡。弥生時代中期に始まり、後期に最盛期を迎えた。

縄文時代草創期の石器

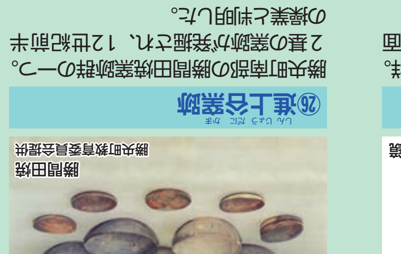
㉔大河内遺跡

滝川沿いに立地する縄文時代から中世の集落遺跡。縄文時代草創期の石器が多数出土し注目を浴びた。


銅鏡

㉕宮ノ上古墳群

４基からなる古墳時代中期の古墳群。１号墳では、竪穴式石室から銅鏡２面が出土した。

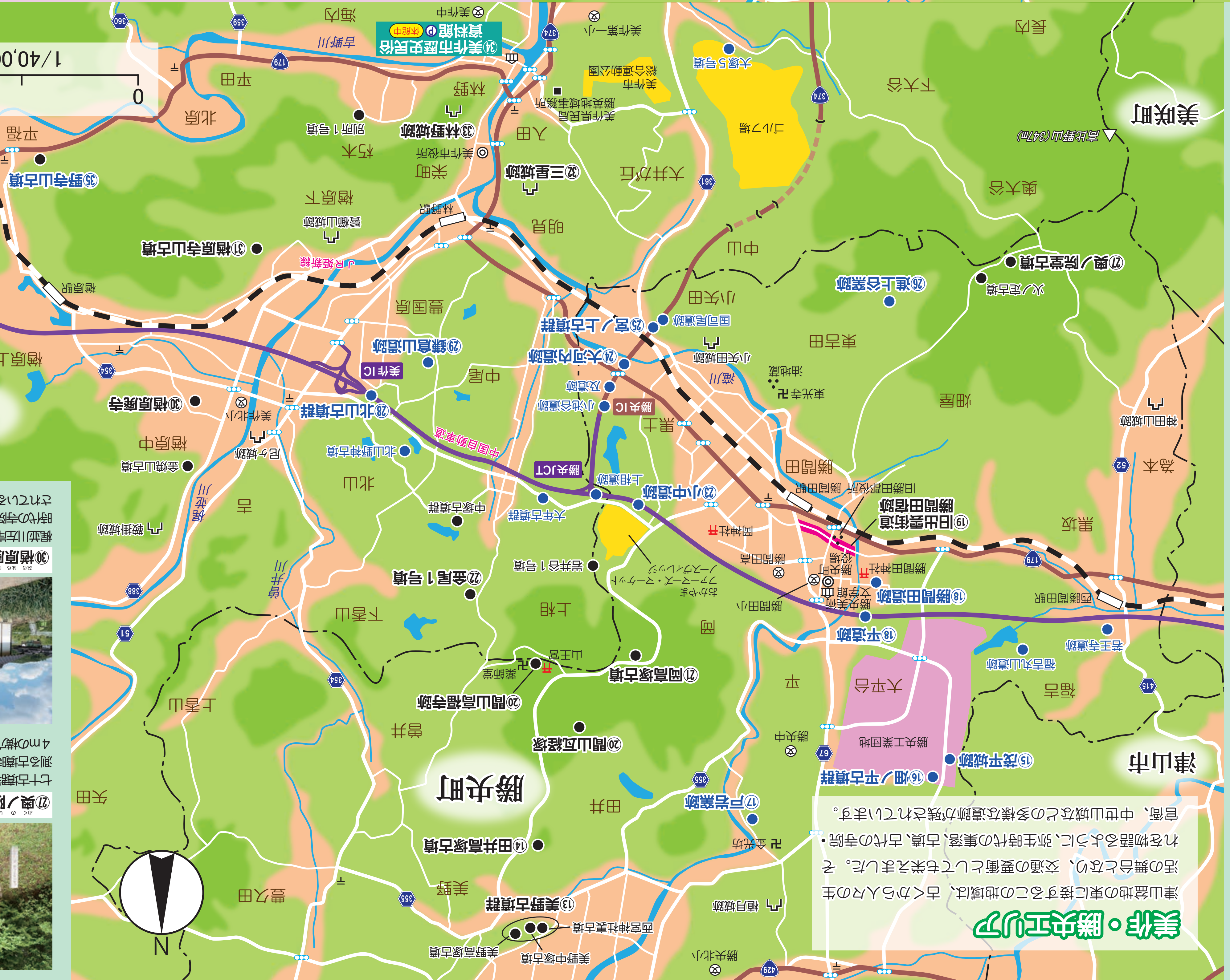

勝間田焼
勝央町教育委員会提供

㉖進上谷窯跡

勝央町南部の勝間田焼窯跡群の一つ。２基の窯跡が発掘され、12世紀前半の操業と判明した。

美作・勝央エリア

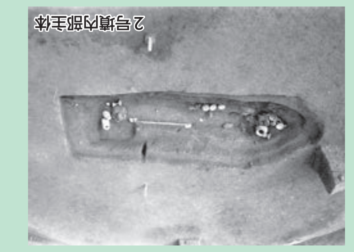
津山盆地の東に接するこの地域は、古くから人々の生活の舞台となり、交通の要衝としても栄えました。それを物語るように、弥生時代の集落、古墳、古代の寺院・官衙、中世山城などの多様な遺跡が残されています。



横穴式石室

㉗奥ノ院堂古墳（町史跡）

七十古墳群のうちの１基。径約12mを測る古墳時代後期の円墳で、現存長約４mの横穴式石室をもつ。


２号墳内部主体

㉘北山古墳群

古墳時代後期の円墳４基からなる。いずれも木棺直葬で、１・２号墳からは多量の副葬品が出土した。

竪穴住居

㉙鎌倉山遺跡

丘陵上に営まれた集落遺跡。弥生時代後期～古墳時代後期の竪穴住居や貯蔵穴などが多数発掘された。

近景

㉚楢原廃寺（市史跡）

梶並川左岸の段丘上にある白鳳～平安時代の寺院跡。礎石建物や瓦窯が発掘されている。

銅鏡
美作市教育委員会提供

㉛楢原寺山古墳（市史跡）

古墳時代前期に築かれた全長52mの前方後方墳。竪穴式石室から銅鏡をはじめとする副葬品が出土した。

遠景

㉜三星城跡（市史跡）

三星山の山頂付近に立地し、美作有数の規模を誇る山城。後藤氏の居城で、宇喜多氏の攻撃により落城した。

遠景

㉝林野城跡（市史跡）

吉野川・梶並川の合流点を望む城山の山頂に築かれた連郭式山城。尾根上に500mにわたり曲輪が連なる。

建物外観

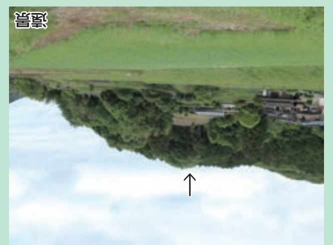
㉞美作市歴史民俗資料館

旧美作町の歴史・民俗資料等を展示。建物は大正 11 年（1922）建築の旧妹尾銀行林野支店。

陶棺
東京国立博物館所蔵
Image:TNM Image Archives

㉟野寺山古墳（市史跡）

平福地区の山裾にあった古墳時代終末期の古墳。土師質家形陶棺には、人物や馬などの装飾がみられる。


遠景

㊱録青塚古墳（市史跡）

丘陵尾根上に築かれた全長約30mの前方後円墳。古墳時代後期の築造と推定される。

美作市 と その周辺

美作市
勝央町
西粟倉村

岡山県の北東部に位置し、兵庫県・鳥取県と境を接するこの地域では、河川沿いの平野や周囲の丘陵上に、各時代の集落や古墳、山城などが分布しています。また、旧出雲街道・因幡街道の宿場や関所の跡、豊かな砂鉄資源を生かした製鉄遺跡など、地域を特色づける遺跡も数多く残されています。

- ●黄色は駐車場等が整備され、見学しやすい遺跡です。
- ●黒色は専用の駐車場等は整備されていませんが、見学可能な遺跡です。
- ●青色は開発事業に伴い発掘調査を行った遺跡などです。消滅したものも多く見学はできませんが、周辺の地下にはまだ遺跡が広がっている場合もあります。

近景

㊲永昌山たたら遺跡

吉野川の源流部に位置する江戸～明治時代の製鉄遺跡。石垣や水路などの遺構が残り、金屋子神が祀られている。

峠道の石垣

㊳志戸坂峠道（歴史の道百選）

美作・因幡国境の峠道。古代の官道と考えられ、江戸時代には参勤交代にも利用された。

鉄滓の堆積層

㊴金山屋敷遺跡

丘陵裾部の谷筋沿いにある江戸時代の製鉄遺跡。発掘調査により、石垣や排滓場を確認。

遠景

㊵佐淵城跡

吉野川に面する丘陵先端に築かれた山城で、小規模ながら曲輪や堀切が残る。草苅氏の居城と伝える。

「建保写経発掘之地」の碑

㊶建保の写経経塚

明治時代に、建保５年（1217）銘の経典が掘り出された。出土した経典は村指定文化財（個人蔵）。

調査区全景

㊷マナゴウ遺跡

後山山麓の緩斜面に立地する江戸時代の製鉄遺跡。発掘調査により、平坦部や柱穴などの遺構が確認された。

遠景

㊸小房城跡

小房山の山頂に築かれた連郭式山城。尾根上に曲輪を連ね、南端は大規模な堀切で防御する。

２号墳
１号墳
20m
測量図
出典：『美作の首長墳』（一部改変）

㊹真加部観音堂１号墳（市史跡）

丘陵上に築かれた全長約44mを測る古墳時代前期の前方後円墳。南西に円墳の２号墳が隣接。

銅鐸
津山郷土博物館提供

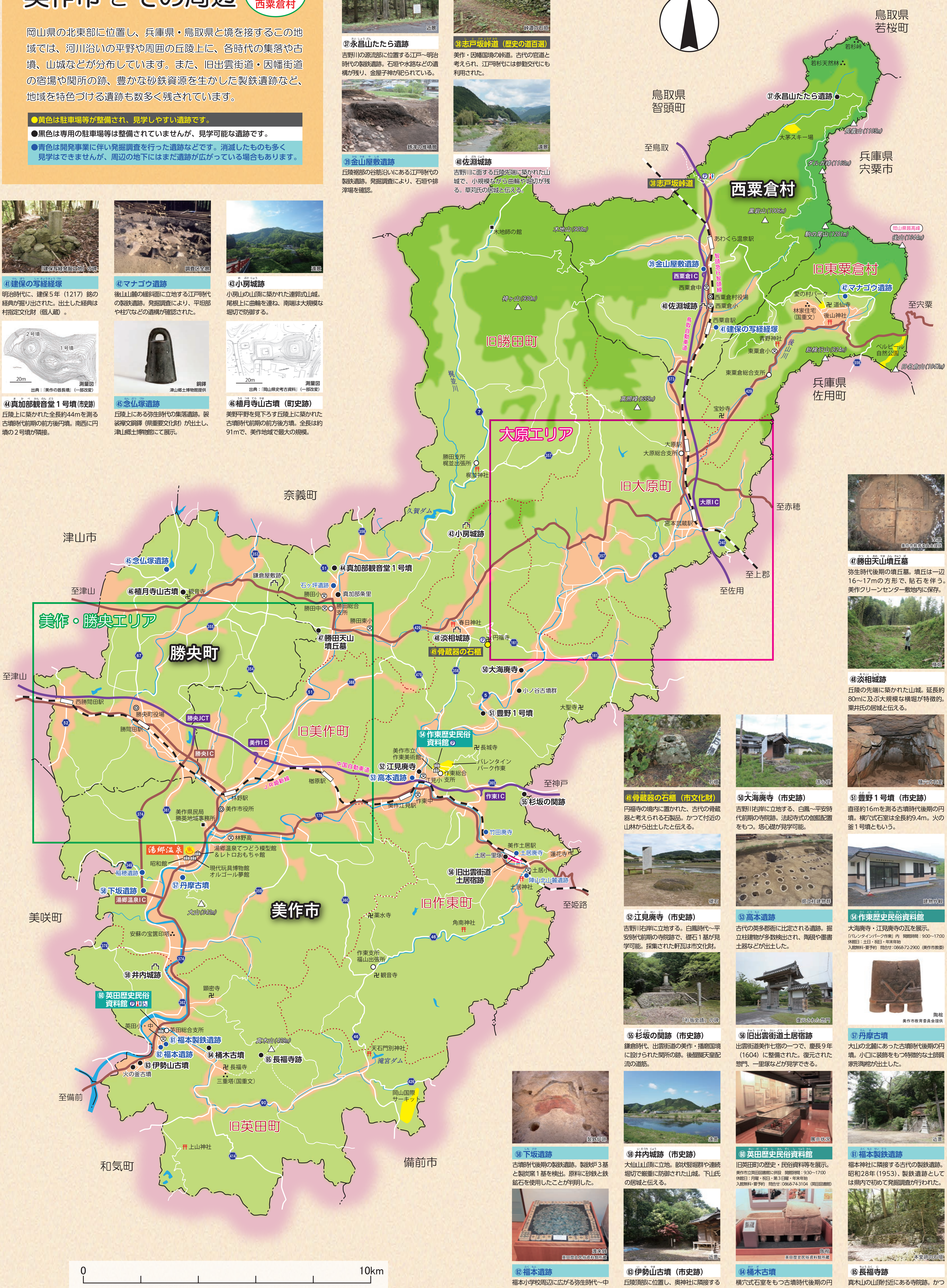
㊺念仏塚遺跡

丘陵上にある弥生時代の集落遺跡。袈裟襷文銅鐸（県重要文化財）が出土し、津山郷土博物館にて展示。

20m
測量図
出典：『岡山県史考古資料』（一部改変）

㊻植月寺山古墳（町史跡）

美野平野を見下ろす丘陵上に築かれた古墳時代前期の前方後方墳。全長は約91mで、美作地域で最大の規模。



全景
美作市教育委員会提供

㊼勝田天山墳丘墓

弥生時代後期の墳丘墓。墳丘は一辺16～17mの方形で、貼石を伴う。美作クリーンセンター敷地内に保存。

横堀

㊽淡相城跡

丘陵の先端に築かれた山城。延長約80mに及ぶ大規模な横堀が特徴的。粟井氏の居城と伝える。

石櫃

㊾骨蔵器の石櫃（市文化財）

円福寺の境内に置かれた、古代の骨蔵器と考えられる石製品。かつて付近の山林から出土したと伝える。

塔心礎

㊿大海廃寺（市史跡）

吉野川右岸に立地する、白鳳～平安時代前期の寺院跡。法起寺式の伽藍配置をもつ。塔心礎が見学可能。

横穴式石室

(51)豊野１号墳（市史跡）

直径約16mを測る古墳時代後期の円墳。横穴式石室は全長約9.4m。火の釜１号墳ともいう。

礎石

(52)江見廃寺（市史跡）

吉野川右岸に立地する。白鳳時代～平安時代前期の寺院跡で、礎石１基が見学可能。採集された軒瓦は市文化財。

掘立柱建物群

(53)高本遺跡

古代の英多郡衙に比定される遺跡。掘立柱建物が多数検出され、陶硯や墨書土器などが出土した。

建物外観

(54)作東歴史民俗資料館

大海廃寺・江見廃寺の瓦を展示。

「バレンタインパーク作東」内　開館時間：9:00～17:00
休館日：土日・祝日・年末年始
入館無料・要予約　問合せ：0868-72-2900（美作市教委）

「杉坂史蹟」の碑

(55)杉坂の関跡（市史跡）

鎌倉時代、出雲街道の美作・播磨国境に設けられた関所の跡。後醍醐天皇配流の道筋。

復元された惣門

(56)旧出雲街道土居宿跡

出雲街道美作七宿の一つで、慶長９年（1604）に整備された。復元された惣門、一里塚などが見学できる。

陶棺
美作市教育委員会提供

(57)丹摩古墳

大山の北麓にあった古墳時代後期の円墳。小口に装飾をもつ特徴的な土師質家形陶棺が出土した。

製鉄炉跡

(58)下坂遺跡

古墳時代後期の製鉄遺跡。製鉄炉３基と製炭窯１基を検出。原料に砂鉄と鉄鉱石を使用したことが判明した。

遠景

(59)井内城跡（市史跡）

大仙山山頂に立地。畝状竪堀群や連続堀切で厳重に防御された山城。下山氏の居城と伝える。

展示状況

(60)英田歴史民俗資料館

旧英田町の歴史・民俗資料等を展示。

美作市立英田図書館に併設　開館時間：9:30～17:00
休館日：月曜・祝日・第３日曜・年末年始
入館無料・要予約　問合せ：0868-74-3104（英田図書館）

近景

(61)福本製鉄遺跡

福本神社に隣接する古代の製鉄遺跡。昭和28年（1953）、製鉄遺跡としては県内で初めて発掘調査が行われた。

渡来銭
英田歴史民俗資料館所蔵

(62)福本遺跡

福本小学校周辺に広がる弥生時代～中世の遺跡。中でも１万枚を超える渡来銭の出土は注目される。

近景

(63)伊勢山古墳（市史跡）

丘陵頂部に位置し、奥神社に隣接する径約30mの円墳。付近から埴輪・土師器片などが出土している。

陶棺
英田歴史民俗資料館所蔵

(64)桶木古墳

横穴式石室をもつ古墳時代後期の円墳。石室内からは土師質亀甲形陶棺が出土している。

本堂跡の石垣

(65)長福寺跡

真木山の山頂付近にある寺院跡。かつて数十の僧坊があったという。麓に移転した三重塔は国指定重要文化財。